

Supporting your movement

あらゆる動きを支えて 豊かな暮らしに貢献する



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第117期 報告書

2024年4月1日~2025年3月31日

証券コード 7245

CONTENTS

| | |
|---|----|
| 株主の皆様へ | 1 |
| 第117回定時株主総会決議のご通知 | 1 |
| 連結決算ハイライト | 1 |
| 営業のご報告 | 2 |
| 新中期経営計画 2025~2030[Bridge to Daido 2030] | 3 |
| 2026年3月期業績予想 | 5 |
| 配当について | 5 |
| TOPICS | 5 |
| 事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比) | 6 |
| 決算の状況(連結) | 7 |
| 業績の推移(連結) | 8 |
| 企業情報 | 9 |
| 会社概要/役員 | 9 |
| 株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点) | 10 |
| 株主メモ | 11 |
| 株式に関する諸手続のご案内 | 11 |
| 株主優待 | 11 |



代表取締役会長兼 CEO
判治 誠吾



代表取締役社長兼 COO
古川 智充

第117回定時株主総会決議のご通知

2025年6月27日開催の当社第117回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第117期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第117期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 取締役9名選任の件
 - 第2号議案 補欠監査役1名選任の件
 - 第3号議案 役員賞与支給の件
- 全議案は、原案どおり承認可決されました。

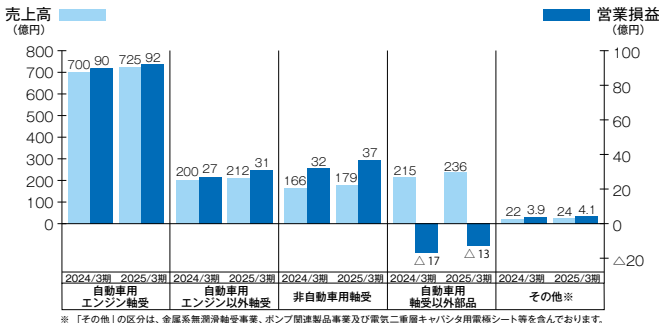
連結決算ハイライト(前年度比)

1 2025年3月期 通期連結決算概要

単位: 百万円 (百万円未満四捨五入) 比率は表示単位未満四捨五入)

| 連結業績 | 【前期】 2024年 3月期通期 | 【当期】 2025年 3月期通期 | 前年度比 | |
|---------------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|------------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 128,738 | 136,303 | 7,565 | 5.9% |
| 営業利益 (営業利益率) | 6,084 (4.7%) | 7,091 (5.2%) | 1,006 (0.5pt) | 16.5% - |
| 経常利益 (経常利益率) | 5,825 (4.5%) | 6,820 (5.0%) | 994 (0.5pt) | 17.1% - |
| 親会社株主に帰属する 当期純増損益 (純増損益率) | 2,569 (2.0%) | 2,720 (2.0%) | 151 (0.0pt) | 5.9% - |
| 為替レート (1USドル/円) | 141.83 | 158.18 | 左記為替レートは 各期12月末TTMレート | |
| 為替レート (1ユーロ/円) | 157.12 | 164.92 | | |

2 セグメント別 情報 / 売上高・営業損益 (セグメント間消去前)



3 セグメント別 売上高

単位: 百万円 (百万円未満四捨五入) 比率は表示単位未満四捨五入) 増収要因 減収要因

| セグメント | 売上高増減比 | 前年度比 | 増減要因ポイント項目 |
|--------------|-----------|---------------|---|
| | 2025/3期通期 | 増減額 (増減率) | |
| 自動車用エンジン輪受 | 52.7% | 2,513 (3.6%) | ◎中国:中国メーカーの需要の戻りや中国2輪メーカー開拓による受注増 △タイ:金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる受注減 ◎北米:日系メーカーや北米メーカーの一部でハイブリッド自動車用の好調に伴う受注増 △欧州:EV化に伴う内燃機関搭載車の需要減に加え、大型トラック用の在庫調整による受注減 |
| 自動車用エンジン以外輪受 | 15.4% | 1,192 (5.9%) | ◎中国:プラグインハイブリッド自動車向けの開拓などに伴う受注増 △タイ:金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる受注減 ◎北米:米国の自動車関連部品の堅調な需要増による受注増 △欧州:EV化に伴う内燃機関搭載部品の需要減に伴う受注減 |
| 非自動車用輪受 | 13.0% | 1,277 (7.7%) | ◎大型船舶:LNG船(液化天然ガス運搬用)、自動車運搬船やばら積み船舶の需要増加、継続的な中国や韓国市場の開拓に伴う受注増 ◎中小型船舶/産業用発電機/建設機械他建設機械用サービスパーツの在庫調整による受注減があったものの、船舶用補機、発電機用、データセンター向け非増用電源やオイル・ガス採掘向けの建設機械用などの堅調な需要に伴う受注増 △電力エネルギー/産業用コンプレッサー他:水力発電機用輪受のスポット案件や石油精製プラント稼働好調の影響によるコンプレッサー用輪受の受注増があったものの、蒸気タービン用輪受の一部で在庫調整などに伴う受注減 |
| 自動車用輪受以外部品 | 17.2% | 2,145 (10.0%) | ◎アルミダイカスト製品:受注価格調整の効果による影響や北米向けハイブリッド自動車用部品の需要好調に伴う受注増 ◎精密金属加工部品:北米向けハイブリッド自動車用部品の需要好調に伴う受注増 |
| その他 | 1.7% | 149 (6.6%) | ◎ポンプ関連製品事業でのコロナ明け需要反動による受注減があったものの、金属系無潤滑輪受の新規開拓による受注増 |
| セグメント間消去 | | 287 | |
| 全体合計: | | 7,565 (5.9%) | |

4 セグメント別 営業損益

単位: 百万円 (百万円未満四捨五入) 比率は表示単位未満四捨五入) 増益要因 減益要因

| セグメント | 前年度比 | 増減要因ポイント項目 |
|--------------|---------------|--|
| | 増減額 (増減率) | |
| 自動車用エンジン輪受 | 185 (2.0%) | ◎日本:継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響 △北米:物流費、経費の増加やドル安ペソ高の進行によるメキシコ生産品の原価増による影響 |
| 自動車用エンジン以外輪受 | 321 (11.5%) | ◎日本:継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響 ◎北米:増収による影響 △欧州:減収による影響 |
| 非自動車用輪受 | 475 (14.7%) | ◎大型船舶向け開拓による増収や値上げによる影響 ◎中高速エンジン市場における欧州主要顧客への値上げによる影響 |
| 自動車用輪受以外部品 | 360 | ◎アルミダイカスト製品:エア便原価高騰の影響があったものの、金型管理の高度化、仕上がり工程の改善や不良品の流出防止などの改善活動による影響(第4四半期黒字化を達成) ◎精密金属加工部品:増収効果や物流費の減少による影響 |
| その他 | 19 (5.0%) | ◎増収による影響 |
| セグメント間消去 | △356 | |
| 全体合計: | 1,006 (16.5%) | |

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当期(2025年3月期)における営業の概要についてご報告を申し上げます。

当連結会計年度における当社グループ全体の業績につきましては、売上高は1,363億3百万円となり、前年同期比75億65百万円(+5.9%)の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増収影響などにより、営業利益は70億91百万円と前年同期比10億6百万円増益(前年同期は営業利益60億84百万円)、経常利益は68億20百万円と同9億94百万円増益(前年同期は経常利益58億25百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は27億20百万円と同1億51百万円増益(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益25億69百万円)となりました。

2023年度に前中期経営計画「Raise Up “Daido Spirit” ~ Ambitious, Innovative, Challenging~」が最終年度を迎え、2024年度は2025年度を開始年度とする新中期経営計画の準備期間と位置付けて日々の業務に取り組んでまいりました。

その間も原材料価格や資源価格の高騰が継続したほか、労務費の上昇なども見られ、これらは、当社グループの売上高・利益に悪影響をもたらしました。しかしながら、そのような状況下におきましても、当社グループは、自動車主要顧客の生産回復や船舶業界や建設機械業界における旺盛な需要に対応しました。利益面につきましても、材料費・労務費な

どの価格転嫁の取組強化などにより利益の押下げ要因の解消に努めました。

このような状況の中、当社グループは、2025年度から2030年度までの期間を、2030年以降を見据えた事業体制の再構築を行う6年間と位置付けた上で、前中期経営計画の成果と課題や2024年度における取り組み、昨今の新たな事業環境の変化も踏まえ、今回の新中期経営計画「Bridge to Daido 2030」を策定いたしました。

当社グループを取り巻く環境の目まぐるしい変化や将来予測の見通しが難しい状況は変わりませんが、この難局的確に対処するべく、当社グループは、2025年度を開始年度とする新中期経営計画「Bridge to Daido 2030」を着実に遂行し、企業価値の向上に努めていく所存です。

新中期経営計画の策定にあたっては、2050年を展望し、当社グループが提供してきた製品の社会的価値や大切にしてきた価値観を未来へのパーパス(Purpose)とし、また、当社グループが目指す姿をビジョン(Vision)としました。新中期経営計画のスタートに合わせて、事業セグメント名称を変更し、新中期経営計画で掲げた目標を達成するために、従来以上に事業セグメント毎の戦略を明確化し、経営資源の配分見直しなども進めます。

なお、新中期経営計画「Bridge to Daido 2030」の詳細につきましては、3頁及び4頁をご参照願います。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

2025年6月

|大同メタルグループの描く未来(パーパス)

Supporting your movement

あらゆる動きを支えて **豊かな暮らしに貢献する**

|大同メタルグループの目指す姿(ビジョン)

世界唯一の総合すべり軸受メーカーとして
世界No.1の企業であり続ける

これまでの分野で**極める**

自動車・船舶分野のフィールドでさらに強く

すべり軸受

+

ユニット製品

+

新たなビジネス

新しい分野を**開拓する**

すべり軸受のコア技術が拓く新たなビジネス
社会生活の変化で生じる新たな価値創造

すべり軸受技術の
ポテンシャル

|財務資本戦略の基本方針(25年度~30年度)

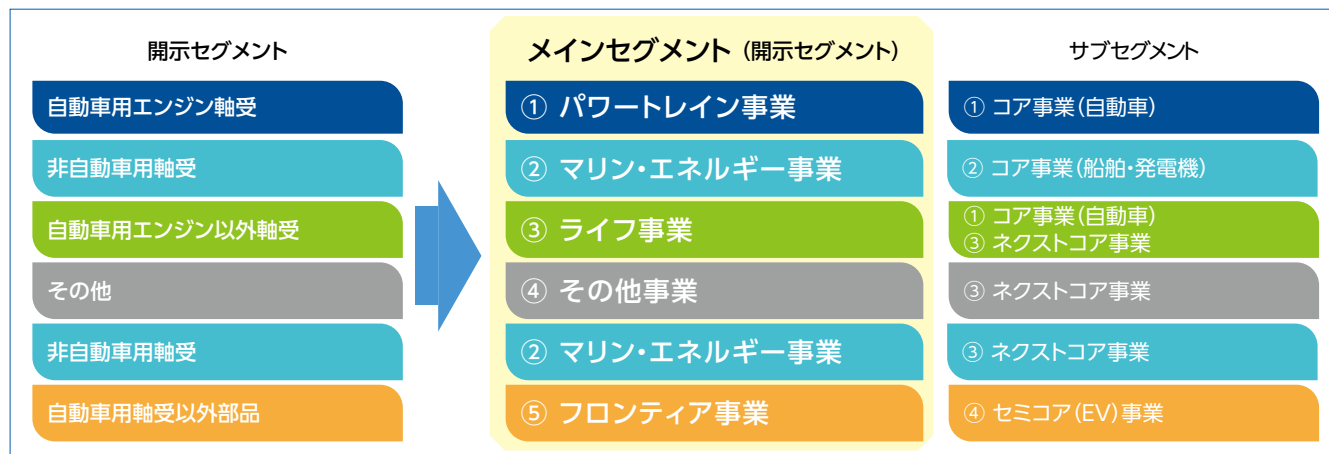
ROE改善を軸に企業価値の向上を図り
未来への投資と株主の皆様への還元に繋げることを
基本方針として重視してまいります

- ① 利益創出力の強化による利益率の改善
- ② 成長期待分野への投資と株主の皆様への還元
- ③ バランスシートマネジメント推進による総資産コントロールと有利子負債の削減

大同メタルグループのフィールド明確化

未来への目指すべき事業ポートフォリオ実現に向かって事業セグメント名称を変更

25年度よりRe-start



中期経営計画 主要KPI (25年度～30年度)

(単位 億円)

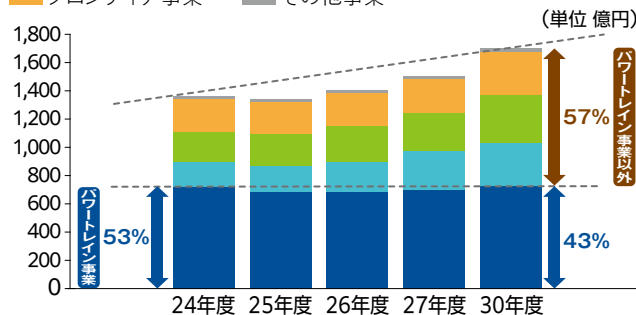
| | 24年度実績 | 25年度予想 | 27年度計画 | 30年度計画 |
|-------|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 1,363 | 1,340 | 1,500 | 1,700 |
| 営業利益 | 70 | 80 | 120 | 170 |
| 当期純利益 | 27 | 35 | 70 | 80 |
| 為替レート | 158.18円/US\$ | 145円/US\$ | 145円/US\$ | 145円/US\$ |

| | 24年度実績 | 25年度予想 | 27年度計画 | 30年度計画 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 営業利益率 | 5.2% | 6.0% | 8%以上 | 10%以上 |
| ROE | 3.8% | 5.0% | 8%以上 | 9%以上 |

| | 24年度実績 | 25年度予想 | 27年度計画 | 30年度計画 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| ネットDEレシオ | 0.50 | 0.50 | 0.45 | 0.40以内 |
| 配当性向 | 31.2% | 32.3% | 35%以上 | 40%以上 |

各事業の売上高計画

■ パワートレイン事業 ■ マリン・エネルギー事業 ■ ライフ事業
■ フロントティア事業 ■ その他事業



(単位 億円)

| | 24年度実績 | 27年度計画 | 30年度見通し |
|-------------|--------|--------|---------|
| フロントティア事業 | 235 | 238 | 300 |
| ライフ事業 | 210 | 271 | 340 |
| マリン・エネルギー事業 | 179 | 274 | 310 |
| パワートレイン事業 | 721 | 700 | 725 |

今後の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、米国の関税措置及び世界的なインフレの継続懸念等による影響・環境変化が激しく、不確実性が増していくことが予測されます。

当社グループは、新中期経営計画に基づく活動を通して、企業価値の向上に取り組んでまいります。

なお、次期連結会計年度の通期の連結業績につきましては、下記のとおり見込んでおります。

❖ 通期

(百万円)

| 連結 | 2025/3期 (実績) | 2026/3期 (予想) | 増減額 | 増減率 |
|-------------------------------|-----------------|-----------------|---------|---------|
| 売上高 | 136,303 | 134,000 | △ 2,303 | △ 1.7% |
| 営業利益 (同利益率) | 7,091 (5.2%) | 8,000 (6.0%) | + 908 | + 12.8% |
| 経常利益 (同利益率) | 6,820 (5.0%) | 7,000 (5.2%) | + 179 | + 2.6% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 (同利益率) | 2,720 (2.0%) | 3,500 (2.6%) | + 779 | + 28.7% |

※想定為替レート：1USD/145円、1ユーロ/165円

当社は、株主の皆様へ、経営成績及び配当性向を考慮した適切な利益還元と、将来の事業展開、研究開発の拡充、経営基盤強化及び経営環境の変化などのための内部留保資金を総合的に勘案し、長期安定的な剰余金の配当水準を維持することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、基本方針に基づき、通期の連結業績などを総合的に勘案した結果、1株当たり11円といたしました。

また、2025年度からスタートした新中期経営計画「Bridge to Daido 2030」では、ROEの改善を軸に企業価値の向上を図り、この向上した企業価値を、未来への投資と株主の皆様への還元に繋げていくことを重視してまいります。

次期の配当につきましては、1株当たり年間24円(中間配当12円、期末配当12円)を予定しております。

なお、当社は、会社法第459条に基づき、9月30日及び3月31日を基準日として、取締役会の決議により剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めています。

| | 【前期】 2024/3期 | 【当期】 2025/3期 | 【次期】(予想) 2026/3期 |
|------|-----------------|-----------------|---------------------|
| 中間 | 2円 | 7円 | 12円 |
| 期末 | 13円 | 11円 | 12円 |
| 年間 | 15円 | 18円 | 24円 |
| 配当性向 | 27.5% | 31.2% | 32.3% |

※2025年3月期の期末配当につきましては、2024年5月14日公表から3円増配の11円(年間配当は1株当たり18円)といたしました。

TOPICS

| 世界初! グラフェン厚膜電極の製造に成功

当社と(株)マテリアルイノベーションつくばは共同研究開発の成果として、世界で初めてグラフェンを用いた画期的な厚膜電極の製造に成功し、従来の技術では実現が困難だったキャパシタの高エネルギー密度化を達成しました。

近年、蓄電デバイスの進化が急速に進む中、高性能で持続可能なエネルギー貯蔵技術の開発が求められています。

従来のグラフェン電極はペースト状にしたグラフェン材料をコーティングしている為、厚膜電極の生産は不可能でしたが、当社は(株)マテリアルイノベーションつくばが開発した「Gmit®」の技術を用いたグ

(2025年4月)



ラフェン複合材を用い、**キャパシタ用電極シート**の製造で培った製造工程に自社開発の成膜技術を加え、高密度で、厚膜のグラフェン厚膜電極の製造に成功しました。

次世代の蓄電デバイス市場において、期待されるメリット

- ✓ より高効率で安全なエネルギー貯蔵が可能
- ✓ 長寿命化によりメンテナンスコストを削減
- ✓ 環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現に貢献

事業セグメント別概要（事業内容・売上高構成比）

パワートレイン事業（旧 自動車用エンジン軸受）

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構）用軸受、産業エンジン用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル

▲スラストワッシャー

▲ターボチャージャー用ベアリング

マリン・エネルギー事業（旧 非自動車用軸受）

■事業内容

船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電（水力・火力・風力）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速エンジン用軸受

中小型船舶・産業用発電機・建設機械用軸受



▲中高速エンジン用軸受

電力エネルギー・産業用コンプレッサー用軸受



▲回転機械用軸受

ライフ事業（旧 自動車用エンジン以外軸受）

■事業内容

空調コンプレッサー用軸受、自転車部品（変速機、レバー）用軸受、自動車部品（ショックアブソーバー、トランスミッション、ソレノイドバルブ）用軸受、油圧機器用軸受、航空機部品用軸受、リクライニングベッド用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用軸受

▲空調コンプレッサー用軸受
自転車部品（変速機、レバー）用軸受

フロンティア事業（旧 自動車用軸受以外部品）

■事業内容

自動車用（電動化自動車含む）アルミダイカスト製品、自動車及び二輪向け精密金属加工部品（曲げパイプ製品、切削加工製品、ロックピン）など。

〈主な製品〉



▲PCUケース（パワーコントロールユニット）



▲曲げパイプ製品



▲切削加工製品

その他事業（旧 その他）

■事業内容

金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業など。

〈主な製品〉



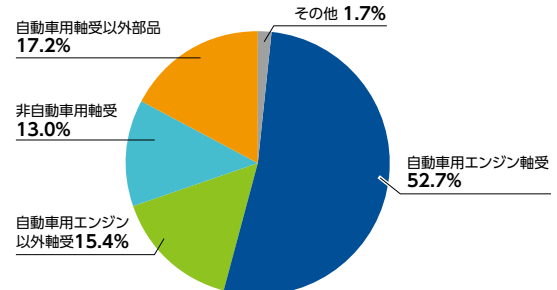
▲金属系無潤滑軸受

▲ロータリーポンプ

▲集中潤滑装置

▲電気二重層キャパシタ用電極シート

売上高構成比（外部売上比率）



※実績のため、旧セグメント名で記載しております。

2025年3月期通期

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

| 科目 | 前期 | 当期 | |
|-------------|----------------------|----------------|----------------|
| | (2024年3月31日) | (2025年3月31日) | |
| 資産の部 | 流動資産 | 103,549 | 107,585 |
| | 固定資産 | 84,820 | 89,070 |
| | 有形固定資産 | 56,865 | 60,692 |
| | 無形固定資産 | 9,384 | 8,383 |
| | 投資その他の資産 | 18,570 | 19,994 |
| 資産合計 | 188,369 | 196,656 | |
| 負債の部 | 流動負債 | 74,468 | 70,092 |
| | 固定負債 | 35,179 | 44,468 |
| | 負債合計 | 109,647 | 114,561 |
| 純資産の部 | 株主資本 | 57,786 | 59,565 |
| | 資本金 | 8,413 | 8,413 |
| | 資本剰余金 | 13,114 | 13,114 |
| | 利益剰余金 | 36,549 | 38,319 |
| | 自己株式 | △ 291 | △ 281 |
| | その他の包括利益累計額合計 | 11,033 | 13,184 |
| | その他有価証券評価差額金 | 1,615 | 1,698 |
| | 為替換算調整勘定 | 6,418 | 8,512 |
| | 退職給付に係る調整累計額 | 2,999 | 2,973 |
| | 非支配株主持分 | 9,901 | 9,344 |
| | 純資産合計 | 78,721 | 82,095 |
| | 負債純資産合計 | 188,369 | 196,656 |

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

| 科目 | 前期 | 当期 |
|------------------|------------------------|------------------------|
| | (2023年4月1日～2024年3月31日) | (2024年4月1日～2025年3月31日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 16,655 | 10,924 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 8,303 | △ 8,390 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,499 | △ 2,391 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 220 | 290 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 5,631 | 432 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 18,955 | 24,586 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 24,586 | 25,019 |

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

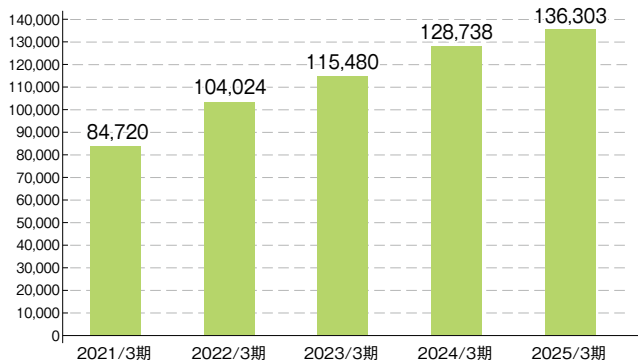
| 科目 | 前期 | 当期 |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| | (2023年4月1日～2024年3月31日) | (2024年4月1日～2025年3月31日) |
| 売上高 | 128,738 | 136,303 |
| 売上原価 | 97,433 | 102,540 |
| 売上総利益 | 31,304 | 33,762 |
| 販売費及び一般管理費 | 25,219 | 26,671 |
| 営業利益 | 6,084 | 7,091 |
| 営業外収益 | 1,636 | 1,779 |
| 営業外費用 | 1,895 | 2,050 |
| 経常利益 | 5,825 | 6,820 |
| 特別利益 | 210 | - |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,036 | 6,820 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,688 | 3,175 |
| 法人税等調整額 | △ 99 | 12 |
| 当期純利益 | 3,447 | 3,631 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 878 | 911 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,569 | 2,720 |

連結株主資本等変動計算書

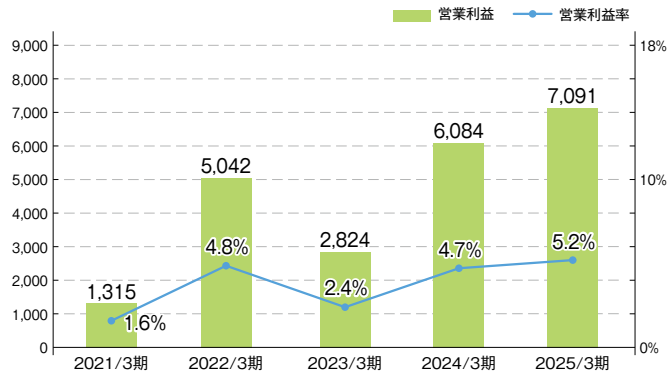
当連結会計年度（2024年4月1日～2025年3月31日） 単位：百万円（百万円未満切捨て）

| 科目 | 株主資本 | その他の包括利益累計額合計 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|---------------|---------------|--------------|---------------|
| 当期首残高 | 57,786 | 11,033 | 9,901 | 78,721 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | △ 950 | | | △ 950 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,720 | | | 2,720 |
| 自己株式の取得 | △ 6 | | | △ 6 |
| 自己株式の処分 | 15 | | | 15 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | 2,151 | △ 557 | 1,593 |
| 当期変動額合計 | 1,779 | 2,151 | △ 557 | 3,373 |
| 当期末残高 | 59,565 | 13,184 | 9,344 | 82,095 |

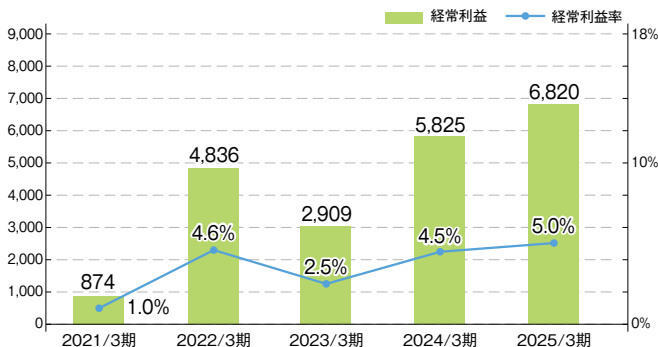
❖ 売上高



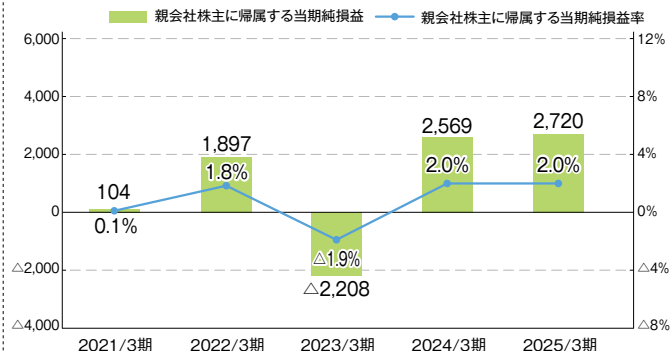
❖ 営業利益



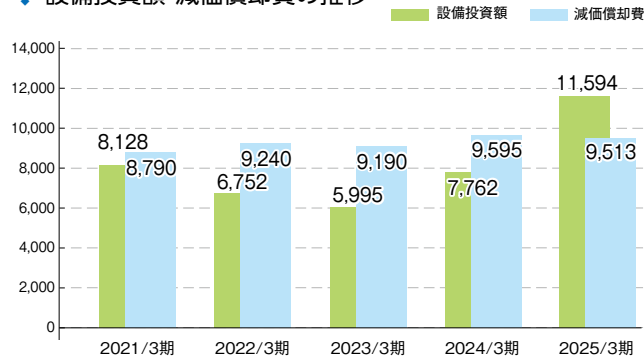
❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純損益



❖ 設備投資額・減価償却費の推移



❖ 主要財務指標

| | 2021年 3月末 | 2022年 3月末 | 2023年 3月末 | 2024年 3月末 | 2025年 3月末 | 対前期末比 |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------|
| 自己資本利益率 (ROE) | 0.2% | 3.3% | △ 3.6% | 4.0% | 3.8% | △ 0.2P |
| 自己資本比率 | 36.3% | 36.3% | 35.3% | 36.5% | 37.0% | 0.5P |
| 純有利子負債 (有利子負債－現預金) | 36,462 | 34,110 | 37,825 | 32,424 | 36,649 | 4,224 |

会社概要

(2025年3月31日現在)

| | | |
|------|--|--|
| 設立 | 1939年(昭和14年)11月4日 | |
| 資本金 | 8,413百万円 | |
| 従業員数 | 連結7,323名/個別1,394名 | |
| 事業内容 | <p>● パワートレイン事業 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルancer機構)用軸受、産業エンジン用軸受など</p> <p>● マリン・エネルギー事業 船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電(水力・火力・風力)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など</p> <p>● ライフ事業 空調コンプレッサー用軸受、自転車部品(変速機、レバー)用軸受、自動車部品(ショックアブソーバー、トランスミッション、ソレノイドバルブ)用軸受、油圧機器用軸受、航空機部品用軸受、リクライニングベッド用軸受など</p> <p>● フロンティア事業 自動車用(電動化自動車含む)アルミダイカスト製品、自動車及び二輪向け精密金属加工部品(曲げパイプ製品、切削加工製品、ノックピン)など</p> <p>● その他事業 金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業など</p> | |

| | | |
|--------|---|---|
| 本社 | 名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング 13階 | 東京本社 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階 |
| 国内生産拠点 | 犬山工場(犬山事業所内) バイメタル製造所(犬山事業所内) TMBS工場(犬山事業所内) TMBS=ターボマシナリーベアリングシステム(回転機械用軸受) | 前原工場(犬山事業所内) 岐阜工場 |
| 国内販売拠点 | 東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所 | |

| | | |
|------|---|--|
| 関係会社 | <p>● 国内 大同ブレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社飯野製作所、ATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社</p> | |
|------|---|--|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| ● 海外 (主な拠点) | <p>【アジア】 中原大同股份有限公司(台湾) 同晟金属株式会社(韓国) ダイナメタル CO., LTD.(タイ) フリビン飯野 Corp(フィリピン) ATAキャスティングテクノロジー CO., LTD.(タイ)</p> <p>【中国】 大同精密金属(蘇州)有限公司 広州原同貿易有限公司</p> <p>【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(英国) 大同メタルコートール AD(モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパ GmbH(ドイツ)</p> <p>【北米】 大同メタル U.S.A. INC.(米国) 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.(メキシコ) ISSメキシコマニファクチャリング S.A. DE C.V.(メキシコ)</p> | <p>PT. 大同メタルインドネシア(インドネシア) BBL 大同プライベートLTD.(インド) 韓国ドライブアリング株式会社(韓国) PT. 飯野インドネシア(インドネシア) DMキャスティングテクノロジー(タイ) CO., Ltd.(タイ)</p> <p>飯野(佛山)科技有限公司</p> <p>大同メタルチェコ s.r.o.(チェコ) 大同メタルヨーロッパLTD.(英国) 大同メタルロシア LLC(ロシア)</p> <p>大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.(メキシコ) ISSアメリカ INC.(米国)</p> |
|-----------------------|--|--|

役員

(2025年6月27日現在)

【取締役及び監査役】

| | | | | |
|---------|----|----|----|--------|
| 代表取締役社長 | 判古 | 治川 | 誠智 | 吾充 |
| 代表取締役社長 | 古川 | 川越 | 智繁 | 充昌 |
| 取締役 | 墓越 | 田越 | 繁有 | 昌宏 |
| 取締役 | 吉田 | 伊藤 | 有啓 | 宏貴 |
| 取締役 | 正田 | 藤田 | 健二 | 隆二(新任) |
| 取締役 | 星長 | 井美 | 清由 | 里二(新任) |
| 取締役 | 白石 | 原真 | 幸司 | 雄章 |
| 取締役 | 高木 | 松田 | 悦章 | |
| 取締役 | 吉田 | | | |

【注】☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

| | | |
|--------|-----|---------|
| 常務執行役員 | 平松 | 伸隆 |
| 上席執行役員 | 渡部 | 晃記 |
| 上席執行役員 | 岩倉 | 弘利 |
| 上席執行役員 | 市橋 | 一彦 |
| 上席執行役員 | ティム | アレックス |
| 上席執行役員 | 落川 | 輝彦 |
| 執行役員 | 林原 | 主税(昇任) |
| 執行役員 | 中野 | 雅裕 |
| 執行役員 | 立木 | 志津夫 |
| 執行役員 | 浅野 | 厳文 |
| 執行役員 | 栗田 | 直樹 |
| 執行役員 | 片桐 | 武彦 |
| 執行役員 | 籠原 | 幸彦 |
| 執行役員 | 土屋 | 重人 |
| 執行役員 | 高木 | 敏彦 |
| 執行役員 | 丹羽 | 貴裕 |
| 執行役員 | 川元 | 省三 |
| 執行役員 | 大倉 | 康裕 |
| 執行役員 | 中島 | 充博 |
| 執行役員 | 村上 | 宣道(新任) |
| 執行役員 | 五島 | 浩二郎(新任) |

株式事項 (2025年3月31日現在)

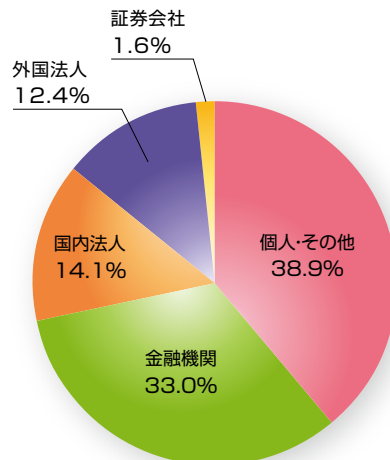
❖ 株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 2,384 株を含む)
 株主数 14,743 名

❖ 大株主

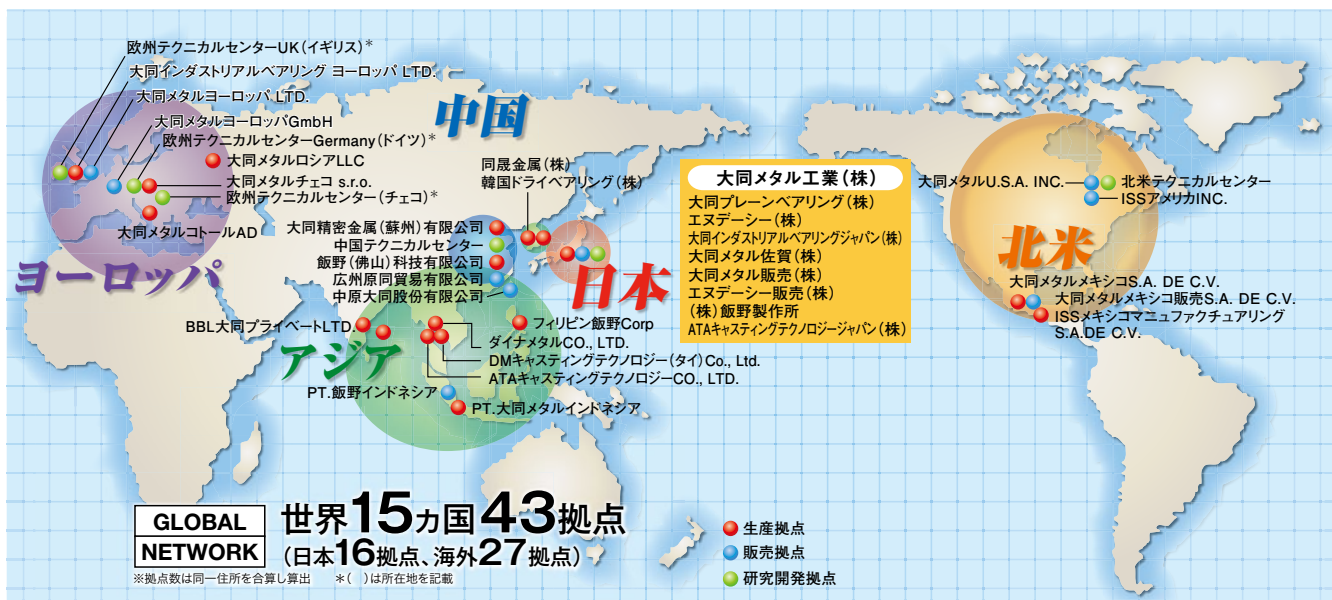
| 株主名 | 持株数(千株) |
|--|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,582 |
| 大同メタル従業員持株会 | 2,057 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 1,978 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,977 |
| 大同メタル友栄会持株会 | 1,961 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 1,822 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,564 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 1,107 |
| THE SERI WATHANA INDUSTRY CO.,LTD 703000 | 1,000 |
| 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 | 886 |

❖ 所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク(主な拠点)

(2025年3月31日現在)



| | | | |
|---------|--|-----------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 | | 特別口座の 口座管理機関 |
| 基準日 | 定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日 | 郵便物送付先 (電話照会先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。 |
| 単元株式数 | 100株 | | 東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場 |
| 公告方法 | 電子公告の方法により、当社のホームページ (https://www.ir.daidometal.com/)に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 | | |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場 | | |

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

- | | |
|---|--|
| <p>1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル) 0120-782-031 [受付時間：平日 9:00～17:00]</p> | <p>2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内 三井住友信託銀行：https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</p> |
|---|--|

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

| 保有株式数 | 継続保有期間 | |
|-------------------|---------------|---------------|
| | 3年未満 | 3年以上 |
| 500株以上～1,000株未満 | クオカード 1,000円分 | クオカード 2,000円分 |
| 1,000株以上～5,000株未満 | クオカード 1,500円分 | クオカード 2,500円分 |
| 5,000株以上 | クオカード 2,000円分 | クオカード 3,000円分 |

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録され、かつ3月31日及び9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、500株以上の保有が7回以上連続で記載又は記録された株主様といたします。

IR専用サイトURL

<https://www.ir.daidometal.com/>



大同メタル早わかり動画URL

<https://www.daidometal.com/jp/20230202-3/>



将来に関する事項につきましては、現在において当社グループが判断した一定の前提に基づいたものであります。これらの記載は実際の結果とは異なる可能性があり、その達成を保障するものではありません。

大同メタル工業株式会社



<https://www.daidometal.com/jp/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。